

2009年度

科目名	心理学A		
担当教員	広沢 俊宗		
配当	文 1	コード	15040
開期	前期	講時	月曜日5限
		単位数	2
授業テーマ	大学生生活の心理学		
目的と概要	高校から大学へスムーズに移行し大学生生活に適応するためには、まず、両者のちがいを十分に認識する必要がある。この科目では、「大学での学び」、「自分という存在」、「他者や社会との関わり」について、心理学的視点から学んでいくことにより、大学生生活への適応を容易にし、さらに充実させることを目的とするものである。		
成績評価法	小レポートなどの平常成績(40%)と定期試験(60%)をあわせて、100%で評価する。		
テキスト	藤本忠明・東正訓／ワークショップ大学生生活の心理学／ナカニシヤ出版 適正開発研究会編／『JOHO-CAB検査』／情報センター		
参考書	藤本忠明・東正訓／ワークショップ心理学／ナカニシヤ出版		
履修に当たっての注意・助言	授業を1/3以上欠席すると、定期試験の受験資格を喪失するので注意すること。		
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1.心理学と大学生生活 心理学という学問領域について理解し、大学生生活との接点を考察する。 2.学びの心理学(1)学ぶ技術を再点検しよう。 3.学びの心理学(2)学習特性を自己分析しよう。 4.学びの心理学(3)効果的な学習法を身につけよう。 5.自己の心理学(1)私たちは世界をどのように認識しているのか。 6.自己の心理学(2)どのように成長してきたか-他者との出会いのはじまり- 7.自己の心理学(3)どのように成長してきたか-社会性と共感性の発達- 8.自己の心理学(4)自分の性格を知る。 9.自己の心理学(5)大学生の心の健康について理解する。 10.他者と社会とのかかわり(1)出会いから友人関係が深まるまでの過程を理解する。 11.他者と社会とのかかわり(2)集団と個人の間を考察する。 12.他者と社会とのかかわり(3)悪徳商法にひっかからないために 13.他者と社会とのかかわり(4)交通事故に遭わないために 14.他者と社会とのかかわり(5)卒業後の進路を考えよう。 15.まとめ 今までに学んだ内容から、大学生生活について再考する。 			